

進 学

0. 高大接続改革に伴う入試改革についての解説

R1.12 現在

新学習指導要領で育成を目指す資質・能力の3つの柱「学力の3要素」

- ① 『知識・技能』
- ② 『思考力・判断力・表現力』
- ③ 『主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度』

大学入学者選抜改革

- ① 共通テスト：選択式問題のみ→記述式問題の導入が検討されたが、延期された。
- ② 共通テスト：英語「読む」「聞く」のみ。→英語4技能型の外部英語試験の導入が検討されたが、再検討することになった。
- ③ 個別試験：「総合型選抜」（旧「AO入試」）・「学校推薦型選抜」（旧「推薦入試」）でも教科・科目のテストを導入する。

大学入学者選抜実施要項の変更

- ① 「一般選抜」（旧「一般入試」）：受験科目の見直し、記述式問題の導入、調査書と受験者本人の記載する資料（エッセイ、面接、集団討論、プレゼン、各種大会の記録、総合的な学習の時間の成果など）の積極的利用、試験期日は1月25日～3月25日、合格発表は3月31日まで。
 - ② 「総合型選抜」（旧「AO入試」）：多様な選考方法（小論文など、プレゼン、口頭試問、実技、教科・科目のテスト、資格・検定試験の成果など）、受験者本人の記載する資料（活動報告書、入学希望理由書、学修計画書など）の積極的利用、試験期日は9月以降（現行より1か月後ろ倒し）、合格発表は11月以降。
 - ③ 「学校推薦型選抜」（旧「推薦入試」）：多様な選考方法（プレゼン、口頭試問、実技、教科・科目のテスト、資格・検定試験の成果など）、推薦書で「学力の3要素」の評価の記載・活用の必須、試験期日は11月以降（現行通り）、合格発表は12月以降。
- 教科・科目のテスト：実施時期は2月1日～3月25日、合格発表は3月31日まで。

調査書・推薦書の見直し

- ① 「調査書」…教科・科目及び総合的な学習における特徴、行動の特徴・特技など、部活動・ボランティア活動等、留学・海外経験、取得資格・検定等の成果、表彰・顕彰等の記録、詳しく記入するようになる。
- ② 「推薦書」…学習・活動の成果を踏まえて、「学力の3要素」の評価を記載するようになる。

受験者本人が記載する資料の詳細

- ① 「活動報告書」…学業に関する活動として、学内の活動（総合的な学習、部活動、生徒会活動などを通じた課題研究の記録）、学外の活動（ボランティア、各種大会・コンクール、留学・海外経験等の記録）、課題研究などに関する活動として、課題テーマの設定理由、概要・成果の記録が必要となる。
- ② 「大学入学希望理由書」…受験者が受験先への入学希望理由を文章で記載する。
- ③ 「学修計画書」…受験者が入学後に学びたい内容や計画、卒業後を見据えた目標などを記載する。
- ④ 芸術系などにおいて実技では「活動報告書」「大学入学希望理由書」「学修計画書」を活用。

I. 1. 進学を考えるにあたって

(1) はじめに

みなさんは、何を目的に進学しようと考えていますか？何となく進学しようと考えている人はいませんか？そんな人は自分の進路について真剣に考えなければなりません。「目的を持ち、達成のための努力をする」、このことは何ごとにおいてもそうですが、進路希望の実現のためにも必要不可欠なことです。これらの基本的なことを再確認し、現状をよく理解して、進路希望の実現に向けて大きな一歩を踏み出そう！

～ 自分の考えを再確認しよう！ ～

- やりたいこと、学びたいことがある？
- 今しか出来ないことはなんだろう？
- 5年後、10年後、どんな自分になりたい？
- 資格や免許を取るとしたら、どんなものを取りたい？
- 今までの人生で一番努力したことは、何？
- 自分の人生を自分で切り開きたいと思う？
- そのために、今何をする？

(2) 大学・短大・専門学校の相違点

「大学・短期大学は専門知識と教養、専門学校は実務」

学校教育法では、大学は「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする」と定義されている。

一方、短期大学は「深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を育成することを主な目的とする」、専門学校は「職業若しくは實際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的とする」とある。

したがって、短期大学や専門学校は、大学に比べて、より「実務的・実用的」な能力の育成を図る教育機関であると言える。ただし、短期大学では、大学と同様に、専門分野以外に教養科目も学ぶ。

これに対して、専門学校の場合は、カリキュラムの大半は専門科目で占められる。とりわけ、職業や資格に直結した演習や実習の比率が高いのが特色だ。

「修業年限は学部・学科などで異なる」

修業年限は、基本的には大学が4年、短期大学と専門学校は2年だが、専門分野によっても例外もある。医師や歯科医師、獣医師、薬剤師の養成を目的とした学部は6年である。また、専門学校でも看護師は3年、理学療法士や作業療法士は3～4年の修業年限となる。

【無認可校】とは、

法律の定めによらず独自の教育を行っている学校のことを言うが、下記の点に注意する必要がある。

- 1) 専門学校2年課程以上の卒業者が、人事院規則で短大卒業者と同等と認められるのに対し、無認可校ではそういった取り扱いを受けられない。
- 2) 資格取得上の特典が与えられない。
- 3) 通学定期券や学割、日本学生支援機構や地方公共団体の奨学金制度の対象とならない。
- 4) 「専門学校」という名称が使用できない。
- 5) 行政上の救済措置がない。(学校が経営難で閉校となっても保障がなされない 等)

詳細については、各学校に問い合わせる必要がある。

「短期大学・専門学校とも卒業後、大学に編入できる」

短期大学を卒業後、学び足りなかったり、他の分野を学びたくなったりした場合、大学への編入学が考えられる。短期大学での修得単位は、大学での卒業要件単位として認められるため、大学2年次・3年次への編入学が可能である。

専門学校卒業生にも大学入学への道が開かれている。「専門士」の称号を取得した専門学校卒業生に限られているが、大学に編入学する事が可能である。

I. 2. 大学の入試

大学入試は「一般選抜（旧「一般入試」）」、「学校推薦型選抜（旧「推薦入試」）」、「総合型選抜（旧AO（アドミッション・オフィス）入試）」がある。

（１）一般選抜（国公立大学）

国公立大学の一般選抜は、「大学入学共通テスト」受験後、各大学の「個別試験」を受け、その総合成績で合否が決まる。共通テストは、国語、地歴、公民、数学、理科、外国語（英語）の6教科29科目の中から、志望校に必要な科目を受験する。国公立大では5（6）教科7科目を課することが多い。

個別試験は、前期日程では2～3教科が主流、後期日程は、小論文、面接、実技などが多い。

共通テストや個別試験の科目や配点は大学毎に異なるので募集要項などで研究する。

（２）一般選抜（私立大学）

「募集要項（入試科目・配点等）」は5～7月発表、7月頃から配布が開始される。文系は国語・英語が必修、地歴・公民・数学から1科目選択が主流。理系は数学・理科・英語の3教科がメイン。理科は専門理科を課し1～2科目が主流。複数の受験日程が組まれている学校が増えている。

「大学入学共通テスト利用入試」は一度の受験で複数の私立大に出願可能で、次の利点がある。

- ・個別（2次試験）を課さない。
- ・共通テスト対策のみでよい。
- ・受験料が安い（一般：30,000円～40,000円程度、共通テスト利用：15,000～20,000円）

（３）令和2年度（2020年度） 大学入試スケジュール（詳細は確認すること）

月	国公立大学	私立大学
5	入試科目発表[5～7月]	大学案内(選抜方法・入試科目)発表[4～7月]
7	AO入試出願開始	AO入試開始[7月中旬～8月下旬]
9	センター試験受験案内配布[9月上旬]	募集要項発表・配布[7月上旬～12月下旬]
10	センター試験出願[10月上旬]	AO入試出願[9月上旬～11月中旬]
11	推薦入試出願開始[11月以降]	推薦入試
12	募集要項発表・配布[12月中旬まで] 推薦入試(セ試験免除)[11月上旬～12月中旬]	AO推薦入試合格発表[～12月中旬]
1	大学入試センター試験[1月中旬] 推薦入試(セ試験免除)合格発表[1月中下旬] 推薦入試[セ試験を課す](1月下旬～2月上旬)	一般入試出願[1月上旬～] AO推薦入試入学手続き
2	2次試験出願(1月下旬～2月上旬) 推薦入試(セ試験を課す) AO入試結果発表[～2月初旬] AO・推薦入試入学手続き[～2月下旬] 前期日程試験[2月下旬]	一般入試(2月入試)[1月下旬～2月下旬] 一般入試合格発表[2月上旬～2月下旬] 一般入試入学手続き
3	前期日程合格発表[3月初～中旬] 前期日程入学手続き[3月中旬] 後期日程試験[3月中旬] 後期日程合格発表[3月中旬] 後期日程入学手続き[3月下旬]	後期日程・2次募集(3月入試)[2月下旬～3月下旬]

(4) 学校推薦型選抜（国公立大）

基本的に校長の推薦を必要とするため、校内選考会議を経て推薦されるかどうか、決定される。原則として「専願」である。

共通テストを課すタイプと課さないタイプがある。書類審査（推薦書・調査書等）、小論文（総合問題含む）、面接（口頭試問含む）、共通テスト等によって総合的に判定される。

(5) 学校推薦型選抜（私立大）

基本的に校長の推薦を必要とするため、校内選考会議を経て推薦されるかどうか、決定される。原則として「専願」である。

（指定校推薦）特定の高校に推薦枠や推薦基準を設け、必ず「専願」である。自分が志願を検討している学校の指定校枠があるかどうかは進路指導室で調べる。

（公募制推薦）「応募条件」を満たしていれば、どの高校からでも出願できる。書類審査・小論文・面接等による合否判定である。

(6) 「学校推薦型選抜」では何が見られるか

(7) 最重要視される「書類審査（調査書など）」

「評定平均」と「学習成績概評」で出願条件が示される。国公立大は評定平均4.0以上、概評A以上が多い。私立大は評定平均3.2以上、概評C以上が多いが、評定平均4.0～4.5以上の大学もある。

他に「自己推薦書」「志望理由書」「活動報告書」「課題レポート」「キャリア計画書」等を提出させる大学もある。

「評定平均値」とは、各科目の3か年間の評定の合計を科目数で割ったもの。

「学習成績概評」とは、この評定平均値を次に示す基準によってA, B, C, D, Eとしたもの。

5.0～4.3	4.2～3.5	3.4～2.7	2.6～1.9	1.8～
A	B	C	D	E

(1) 面接

個人面接と集団面接の2タイプがある。聞かれるテーマは、志望理由、高校での活動、将来の希望・抱負、大学生活の抱負・意欲・目標、志望学部学科の関心・適性・基礎学力、社会時事問題の関心・知識である。

(2) 小論文

論述のタイプには、①課題論述型（与えられたテーマについて意見を述べる）②文章読解型（文章を読み設問に答え、関連したテーマについて論述する）③資料総合分析型（資料やグラフから分析結果を論述する）④教科密着型（教科の総合問題など）⑤その他、がある。

その中でも、①課題論述型と②文章読解型が多く、早期から取り組む対策が必要。

(3) 学校推薦型選抜に向いている人

- ・ ルールを守り、基本的な生活習慣が定着している
- ・ 授業を大切にし、評定が高い
- ・ 部活動歴などが充実している
- ・ 志望動機や将来の進路が明確
- ・ 欠席が少ない
- ・ ボランティア活動などが充実
- ・ 英検などの資格が充実している
- ・ 意見を論理的に表現できる など

(7) 「総合型選抜」

総合型選抜の特徴は次の通り。

- ・校長の推薦が無くても出願条件を満たせば応募できる「自己」推薦型である
- ・面接や面談が重視され、時間や日数をかけ綿密に行われる
- ・模擬授業やグループディスカッションなど独自の選抜方法で行われる
- ・大学の受け入れ方針に基づいた「期待する学生像」に合致する必要がある

(7) 総合型選抜のタイプ

「志望理由書や自己アピール」等を提出、その後エントリーシートや提出書類をもとに面談を行い、内定（原則合格）したら正式に出願する。また、

「模擬講義（レポート提出）」や「プレゼン・グループ討論」等を採用する大学もある。

(4) 総合型選抜のスケジュール

選抜型	
9月以降	出願
10月中	1次選考（書類審査）
	2次選考（小論文・面接・模擬講義など）
11月以降	合格発表

(8) 大学入学共通テストにおける「各教科のポイント」注意点

○英語

共通テストでは「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」の共通事項が出題範囲である。英語にはリスニング試験が課される。2次・私立大の科目は様々だが文系理系を問わず英語力が合否の鍵となる場合が多い。問題形式やレベルなど出題傾向も慎重に検討したい。

○国語

共通テストでは「国語総合」からの出題範囲である。私立大はこれに準ずる大学も多い。一般的に現代文・古文・漢文の対策が必要だが、センター試験や個別試験で古文・漢文を除外している大学もかなりある。

○数学

共通テストでは多くの国公立大学が「数学Ⅰ・A」と「数学Ⅱ・B」を指定。理系学部の2次では、これに加えて「数学Ⅲ」を出題範囲とする大学が多い。また2次・私立大の数学Bは「数列・ベクトル」からの出題が一般的である。

○理科

共通テストでは、国公立文系では「基礎」2科目（例：生物基礎）と「専門」（例：生物）からの選択、理系では「基礎」を付さない「専門」を課することが多い。国公立大学の2次試験は「基礎」＋「専門」を課す大学が多い。受験科目数は国公立大の共通テストでは文系は1科目、理系は2科目が主流。理系の2次では2科目が多い。私立大の理系では1科目が中心。

※合否判定に使用される「受験パターン」として、A:基礎2科目、B:専門1科目、C:基礎2科目と専門1科目、D:専門2科目がある。

○地歴・公民

国公立大の共通テスト受験科目は、文系は2科目、理系は1科目選択が標準。地歴は共通テスト・国

公立2次・私立大ともB科目から選択の大学が多い。しかし、大学ごとに科目指定が異なるので注意が必要。私立大では公民を除外する大学も多い。

○令和2年度（2020年度） 大学入試センター試験日程

日程	出題教科・科目		試験開始	試験終了
1月18日 (土)	地理歴史 公民	世界史A、世界史B、日本史A、 日本史B、地理A、地理B	2科目 9:30	11:40
		現代社会、倫理、政治・経済 倫理・政治・経済	1科目 10:40	11:40
	国語	国語	13:00	14:20
	外国語	筆記 リスニング	15:10	16:30
1月19日 (日)	理科①	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎	9:30	10:30
	数学①	数学Ⅰ、数学Ⅰ・A	11:20	12:20
	数学②	数学Ⅱ、数学Ⅱ・B、簿記・会計、情報関係基礎	13:40	14:40
	理科②	物理、化学、生物、地学	2科目 15:30	17:40
1科目 16:40			17:40	

○令和2年度（2020年度） 大学入試センター試験出題教科・科目の出題方法等

教科	出題科目	出題方法等	科目選択の方法	試験時間(配点) →注1
国語	『国語』	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。→注2		80分 (200点)
地理 歴史 公民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」 『倫理、政治・経済』	『倫理、政治・経済』は、「倫理」と「政治経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せて2科目を選択することはできない。→注3 なお、受験する科目数を出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(200点) →注4
数学	① 「数学Ⅰ」 『数学Ⅰ・数学A』	『数学Ⅰ・数学A』は、「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学A」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 [場合の数と確率、整数の性質、図形の性質]	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	60分 (100点)
	② 「数学Ⅱ」 『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』※ 『情報関係基礎』※	『数学Ⅱ・数学B』は、「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 [数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測] 『簿記・会計』は、「簿記」及び「財務会計Ⅰ」を総合した出題範囲とし、「財務会計Ⅰ」については、株式会社の会計の基礎的事	左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子を希望する場合は、出願時に申し出ること。	60分 (100点)

			項を含め、「財務会計の基礎」を出題する。 『情報関係基礎』は、職業教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。		
理科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。 A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目 なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理科①】 2科目選択 60分(100点) →注5 【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(200点) →注4
	②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	「物理」「生物」「生物」「地学」には、一部に選択問題を配置する。		
外国語		『英語』 『ドイツ語』※ 『フランス語』※ 『中国語』※ 『韓国語』※ →注6	『英語』は、「コミュニケーション英語I」に加えて「コミュニケーション英語II」及び「英語表現I」を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子を希望する場合は、出願時に申し出ること。	【筆記】 80分(200点) 【リスニング】 (『英語』のみ) 解答時間30分(50点)

備考

注1 国語及び外国語（「英語」を除く）は、各教科について1試験時間とし、地理歴史及び公民については、合わせて1試験時間とします。数学及び理科は、①及び②の出題科目のグループごとに、外国語「英語」は、筆記とリスニングに試験範囲を分けます。

注2 「国語」の出題分野別の配点は、「近世以降の文章（2問100点）、古典（1問50点）、漢文（1問50点）」とします。
なお、国語の出題分野のうち、大学が指定した分野のみを解答する場合でも、国語の試験時間は80分です。

注3 「地理歴史、公民」の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」，「日本史A」と「日本史B」，「地理A」と「地理B」，「倫理」と『倫理，政治・経済』及び「政治・経済」と『倫理，政治・経済』の組合せを指します。

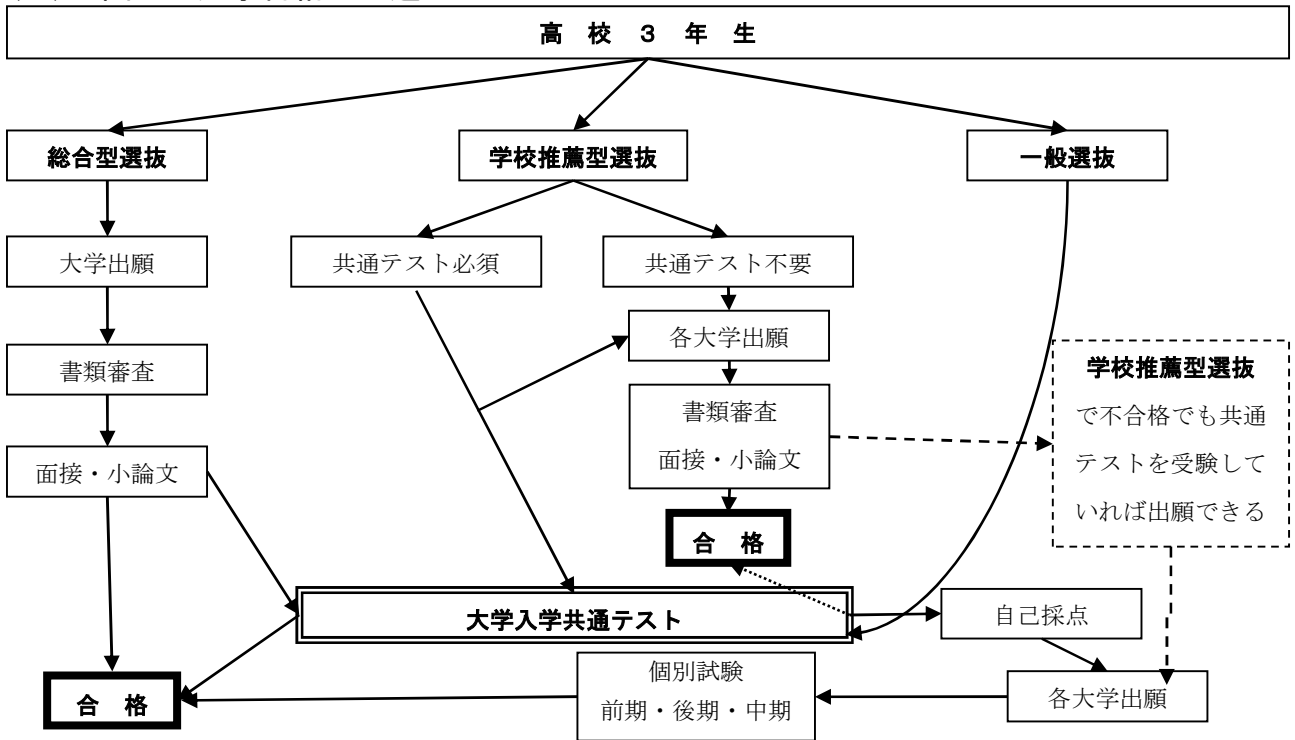
注4 「地理歴史、公民」並びに「理科②」の試験時間において「2科目を受験する」と登録した場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行いますが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とする。

注5 「理科①」については、1科目のみの受験は認めない。

注6 外国語において『英語』を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を解答してください。リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行いますが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間を60分とする。

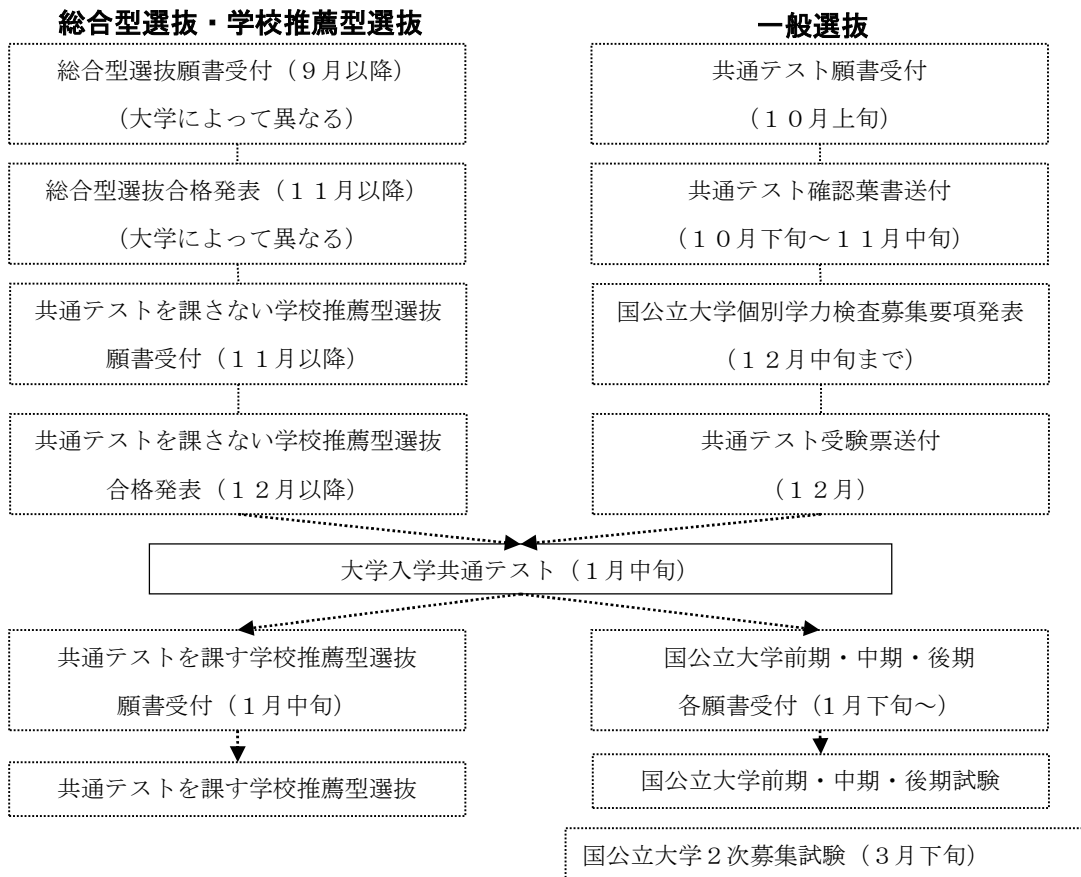
なお、「英語」以外の外国語の筆記を受験した場合、リスニングを受験することはできません。

(9) 国公立大学合格への道

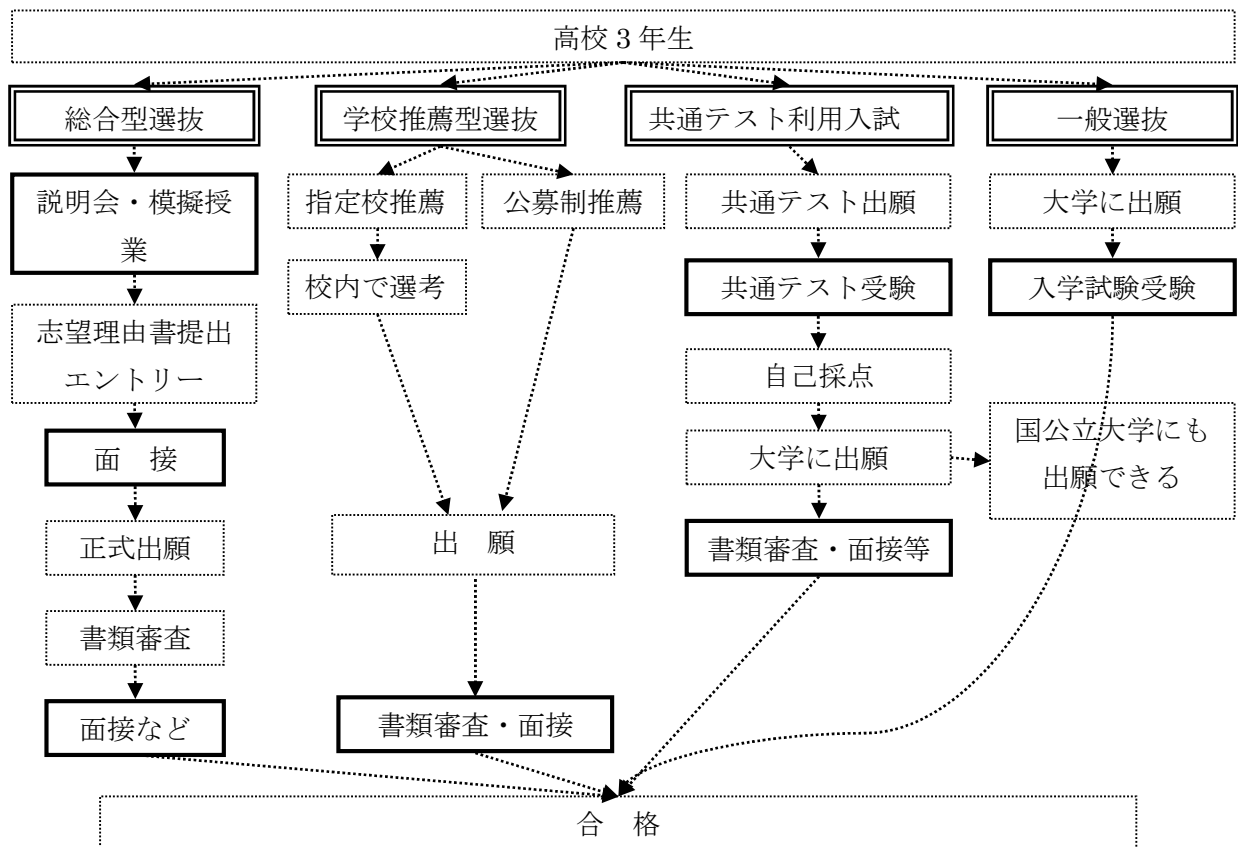


○国公立大学入試の流れ（詳細は正式発表後各自で確認すること）

- ・大学入学共通テストの実施要項発表(6月)
- ・各国公立大学個別学力検査等の選抜要項発表(7月末まで)



○私立大学合格への道



(10) 合格を勝ち取るために

(ア) 目標を早く立てよ

文系か理系か、どんな学部・学科か、将来どんな仕事をしたいのか等、目標は早期に考え、受験する大学を決定する。具体的目標が決まらなければ、受験対策も効果が上がらない。

(イ) 志望校や学部・学科の情報を集めよ

入試情報を詳細に知ることが合格する重要なポイントである。入試科目、倍率、合格最低点、配点などのほか、その大学・学部の人気などもよく調べよう。オープンキャンパス・校内ガイダンス・会場ガイダンスに参加し、合格につながる情報を収集しよう。

(ウ) 合格の“切り札”は得意科目

入試科目中1科目でも得意科目にすれば有利である。3科目入試でも合計点順に合格になるので、1科目得意科目があれば、合計点アップになり、他の科目に、多少不得意な科目があっても合格できる。文系なら地理歴史、理系なら理科の中の1科目を得意科目にして、成功している場合が多い。

(エ) 授業を受験勉強の核にせよ

入試形態は多様だが共通して要求されるのは、基礎学力を試されるということである。このためには、予習・復習・家庭学習を行い、授業内容を正しく理解することが大切である。入試問題は教科書から出題される。授業を受験勉強の核にすることは、合格を勝ち取るために大切なことである。

※令和元年度 本校の主な指定校推薦一覧（大学）

(注)今年度、自分が志望する学校の指定校推薦枠があるか、進路指導室で確認すること。

※詳しくは、各学校から送られてくる募集要項で条件などについては確認すること。

※県外の学校についても同様に、進路指導室で確認すること。

【県内 大学・短期大学】

	大学名	学部	学科					
1	九州ルーテル学院大 学	人文学部	人文学科こども専攻保育コース	5	崇城大学	工学部	機械工学科	
			心理臨床学科				ナノサイエンス学科	
	宇宙航空システム工学科							
2	熊本学園大学	商学部	商学科			情報学部	情報学科	
			ホスピタルティ・マネジメント学科				生物生命学部	応用微生物工学科
		経済学部	経済学科			応用生命科学科		
			リーガルエコノミクス学科			芸術学部	美術学科	
		外国語学部	英米学科				デザイン学科	
			東アジア学科			6	東海大学	経営学部
		社会福祉学部	第一部社会福祉学科					基盤工学部
			福祉環境学科	7	平成音楽大学		音楽学部	音楽学科
ライフ・ウェルネス学科	こども学科							
3	尚綱大学	現代文化学部	文化コミュニケーション学科	8	中九州短期大学		経営福祉学科	
4	尚綱大学	短期大学部	総合生活学科 幼児教育学科			幼児保育学科		

I. 3. 短期大学の入試

(1) 短大入試は調査書重視

短大の場合は調査書を中心に判定する「推薦入学」や、調査書で選抜を行う「書類選抜による入試」が多く行なわれる。一般入試の中でも調査書の占める比重は大きい。短大は、地元進学が多いので、短大側も地元高校の実情に詳しく、調査書に書かれた成績を基に公平に合否を判定できると考えているようである。

(2) 短大での成績基準

学校推薦型選抜を実施する私立・公立短大では、成績基準が「学習成績概評」でB段階以上、「評定平均値」が3.5以上という条件が多い。この条件でも、一般公募である以上、受験生が多く集まってくるのが考えられ、成績条件はもっと高くなることが予想される。私立短大の場合は、大半が概評C段階以上、評定平均値3.0か3.4以上である。

(3) 一般入試で受験する場合

短大の一般入試科目は、2教科型または3教科型で、多くは国語・英語が必要である。医療系短大では3教科型が多く、国語・英語・数学が主流である。また、医療系・難関短大には作文や小論文を課すところもあり、早期からの十分な対策が必要である。

I. 4. 専門学校の種類と入試

(1) はじめに～専門学校の特徴～

(ア)幅広い教育内容とユニークな教育

実際の職業の種類が多様であることに応じて、極めて多くの細分化された学科が設けられています。将来の希望に合わせて最も適切な学科を選択することが可能である。

(イ)職業教育の特質としての多様性

専門学校は社会の状況に柔軟に対応することが可能である。この結果、大学や短大に比べ多様な学科構成がなされ、充実した職業教育が行われている。

(ウ)新しい高等教育の機関

現在、専門学校の在籍者数は短大の在籍者数を上回っており、「第三の高等教育機関」として、「専門士」の称号が得られるなど社会的に評価され、専門学校（2年制以上）の卒業者は人事院通達により短大卒業者と同等に扱われる。その上、実務に直結した教育を受けていることで短大以上の待遇を受ける場合もある。

(エ)「専門士」の称号付与

次の要件を満たす専門課程修了者には「専門士」称号を与えることができるようになった。

①修業年限が2年以上である。

②課程修了の総授業時数が1,700時間以上である。

③原則として試験により成績評価を行い、その評価に基づいて卒業認定を行う。

(2) 大学への編入

次の2つの要件（①修業年限2年以上、②課程の修了に要する総授業時間数が1,700時間以上）を満たす専門学校の修了者は、大学の3年次に原則として編入学ができる。

(3) 「高度専門士」の称号付与

近年、職場の現場で求められる知識、技能等の一層の高度化や、より付加価値の高い人材育成の必要性を背景に、専門学校の長期化が進み、4年制の学科が増加している。こうした高度な専門学校の修了者について、適切に評価するために、「高度専門士」称号が付与されることになった。

(ア)修業年限が4年以上である。

(イ)課程修了の総授業時数が3,400時間以上である。

(ウ)試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の試定を行っている。

(4) 大学院への入学資格付与

高等教育機関相互の接続の円滑化を図るため、一定の要件（高度専門士と同一）を満たしていると認められた4年制専門学校修了者に、大学院入学資格が付与される。

(5) 専門学校に進学するためには

(ア)自分の志望や将来の仕事などについて十分に検討する。

(家族、先生、友人、先輩などに、よく相談することも大切である。)

①まず自分の適性を考えて専攻分野を決める。

②次に学科を決める。

③最後に自分の学力や他の条件（所在地、学費など）を考えて受験校を決める。

(イ)学校を調査する。（パンフレット内容の研究やオープンキャンパスへの参加）

① 学校が認可されているか。

② 学校が就職指導に力を入れているか。

③ 実験・実習について明記され、それに必要な施設・設備が整っているか。

④ 公開されている数値（例：資格・検定試験の合格者数と合格率、就職内定率）は客観的にみる。

⑤ 職業観や人生観を養うカリキュラムが用意されているか。

入学試験は、基礎学力の確認と将来めざす職業についての具体的な志望動機などが重視される。事前に、問題集の基本問題を復習したり、オープンキャンパスなどで見学したりするなどの準備が大切である。また、高校時代に一生懸命がんばったこと（部活動、生徒会活動など）をPRすることも大切である。

(6) 望ましい専門学校とは

(ア)職業教育機関として特色を発揮している学校で、優れた職業人を育成、輩出し、社会の要求（ニーズ）を充足できている学校。

(イ)産業界との長い交わりとそれに基づく信頼があり、伝統を有する学校。

(ウ)確固たる教育方針を持ち、学校全体が一つの教育理念に貫かれている学校。

(エ)社会の変化や流れを常に研究し、カリキュラムが絶えず改善されている学校。

専門学校の入試レベル 原則として推薦入試は面接のみ（一部の医療、社会福祉分野を除く）、一般入試は筆記試験と面接が行われる場合が多く、入学は比較的容易であるが、医療系及び公立の専門学校は定員に対して希望者が多いため、筆記試験による競争となる場合が多い。

(7) 入試の実際～面接のポイント～

- ・ 志望動機、将来の目標（夢）、自分の長所、短所などを、自分の言葉で具体的に説明できる。
- ・ 明るく前向きに自己PRできる。
- ・ 面接に相応しい髪型、服装である。

医療分野の看護、リハビリ系は大学入試型が多く専門学校の中では難関である。また、社会福祉分野の学科も募集定員との関係で難しい学校もある。

(8) 専修学校と資格

(7) 専修学校を卒業することにより取得できる国家資格

① 卒業と同時に取得できる国家資格

関連分野	資格名	入学資格	修業年数	資格認定者
工業	測量士補	高卒	1年以上	国土交通大臣
衛生	栄養士	高卒	2年以上	都道府県知事
	調理師	中卒	1年以上	都道府県知事
教育	保育士	高卒	2年以上	厚生労働大臣
社会福祉	幼稚園教諭(2種)	高卒	2年以上	文部科学大臣
	介護福祉士	高卒	2年以上	厚生労働大臣

② 卒業後、一定の実務経験で取得できる国家試験

関連分野	資格名	入学資格	修業年数	実務経験	資格認定者
工業	測量士	高卒	1年以上	2年以上	国土交通大臣
	第2種電気主任	高卒	2年以上	5年以上	経済産業大臣
	第3種電気主任	高卒	2年以上	2年以上	経済産業大臣

(4) 専修学校を卒業することにより取得できる国家資格などの受験資格

① 卒業と同時に取得できる受験資格

関連分野	資格名	入学資格	修業年数	資格認定者
工業	2級建築士(木造)	高卒	2年以上	都道府県知事
	自動車整備士(3級)	中卒	1年	国土交通大臣
	自動車整備士(2級)	高卒	2年以上	国土交通大臣
	自動車整備士(1級)	2級取得者	2年以上	国土交通大臣
	航空整備士(2等)	高卒	3年以上	国土交通大臣
	航空運航整備士(2等)	高卒	3年以上	国土交通大臣
	消防設備士(甲種)	高卒	2年以上	都道府県知事
	危険物取扱者(甲種)	高卒	2年以上	都道府県知事
商業実務	社会保険労務士	高卒	2年以上	厚生労働大臣
	税理士	高卒	2年以上	国税審議会会長
医療	准看護師	中卒	2年以上	都道府県知事
	看護師	高卒	3年以上	厚生労働大臣
	歯科衛生士	高卒	2年以上	厚生労働大臣
	歯科技工士	高卒	2年以上	厚生労働大臣
	診察放射線技師	高卒	3年以上	厚生労働大臣
	臨床検査技師	高卒	3年以上	厚生労働大臣
	臨床工学技士	高卒	3年以上	厚生労働大臣
	理学療法士	高卒	3年以上	厚生労働大臣
	作業療法士	高卒	3年以上	厚生労働大臣
	視能訓練士	高卒	3年以上	厚生労働大臣
	言語聴覚士	高卒	3年以上	厚生労働大臣
	保健師・助産師	看護師受験資格者	6ヶ月以上	厚生労働大臣
	あん摩・マッサージ指圧師・はり師・きゅう師	高卒	3年以上	厚生労働大臣
	柔道整復師	高卒	3年以上	厚生労働大臣
	救急救命士	高卒	2年以上	厚生労働大臣
	衛生	製菓衛生師	中卒	1年以上
理容師		高卒	2年以上	厚生労働大臣
美容師		高卒	2年以上	厚生労働大臣

② 卒業後、一定の実務経験を経て取得できる国家試験などの受験資格

関連分野	資格名	入学資格	修業年限	実務経験	資格認定者
工業	2級土木施工管理技士	高卒	2年	2年以上	国土交通大臣
	1級土木施工管理技士	高卒	2年	5年以上	国土交通大臣
	2級建築施工管理技士	高卒	2年以上	2年以上	国土交通大臣
	2級電気工事施工管理技士	高卒	2年以上	2年以上	国土交通大臣
	1級電気工事施工管理技士	高卒	2年以上	2級取得後5年以上	国土交通大臣
	1級建築士	高卒	2年以上	4年以上	国土交通大臣
農業	2級造園施工管理技士	高卒	2年	2年以上	国土交通大臣
衛生	管理栄養士	高卒	2年	3年以上	厚生労働大臣
		高卒	3年	2年以上	厚生労働大臣
		高卒	4年	1年以上	厚生労働大臣
教育 社会福祉	社会福祉士	高卒	2年以上	修業年限で異なる	厚生労働大臣
	精神保健福祉士	高卒	3年以上	修業年限で異なる	厚生労働大臣

③専門学校において受験のための教育がなされている国家資格や各種検定など

【情報系】基本情報処理技術者、CAD利用技術者検定、

【会計系】公認会計士、日商簿記検定試験、ファイナンシャル・プランナー

【公認系】中小企業診断士、司法書士、行政書士

【建築系】インテリア・コーディネーター、福祉住環境コーディネーター検定、不動産鑑定士、宅地建物取引主任者、

【デザイン系】フラワー・デザイナー資格検定試験、カラーコーディネーター検定、色彩士検定

【健康スポーツ系】健康運動指導士、レクリエーション・インストラクター、トレーニング指導士

【ビジネス系】国内旅行業務取扱管理者、小売商（販売士）検定試験、ファッションビジネス能力検定

（９）専修学校の３課程

（ア）専修学校「専門課程」

高等学校卒業生以上を対象とした課程(専門学校)。2年課程以上の卒業生は短大卒業生と同等とみなされる。

（イ）専修学校「高等課程」

中学校卒業生以上を対象とした課程。「高等専修学校」と称することができる。

（ウ）専修学校「一般課程」

入学者は学歴や年齢を問わない。

（１０）「認可校」と「無認可校」

専門学校は、都道府県知事の認可や厚生労働省、経済産業省、文部科学省等の認可を受けている学校を卒業すると資格が取得できたり、資格取得のための実務経験年数が短縮されたりするという“特典”を受けることができる(専門学校ではあっても、そうした省庁の認可がない場合は特典がない)。

また、認可を受けていない教育機関も多くあり、これらは総称して「無認可校」といい、厳密に言えば学校ではないが、名称は〇〇学園、□□学院等になっている場合が多い。デメリットとして、卒業しても学歴にならない、奨学金・学割等が利用できない、資格取得上の特典がない等、専門学校で受けられる特典が「無認可校」では受けられない。それらを確認しないと、その学校では自分の希望する資格が取得できないということもある。

（１１）こんな進路もある

（ア）専門学校からの大学編入学

「修業年限2年以上」「卒業までの総授業時間数が1,700時間以上」といった専門士に準じる一定の条件を満たした専門学校卒業生に対し、大学3年次(場合により2年次)への編入学が認められる場合がある。この措置は、既に専門学校を卒業した人にも認められており、大学編入学制度の利用者数は増加傾向にある。

（イ）専門学校の大学併修制度

この「併修制度」は、専門学校に入学した人が、専門学校での授業を受けながら、大学、短大の通信教育等を同時に受講する形で行われる。必要単位を取得すれば、専門学校卒業と同時にその大学、短大の卒業資格を取得できる。最近では、この「併修制度」を取り入れている専門学校が増えている。○「短大併修」が終了した時点、あるいは「大学併修」の2年次が終了した時点で、大学への編入試験を受験することが可能となる。これは、併修制度自体の内容により異なるので注意が必要だが、今後は、併修制度を利用して大学を卒業する人が増えていくことが予想される。

○「Wスクール」といって、大学生や短大生が専門学校の夜間課程に通って専門的な知識、技術を修

得し、さらに資格を取得するというケースが増えている。「Wスクール」の逆パターンが「併修制度」であるという見方もできる。専門学校での専門的な知識・技術の修得とは別に、併修制度を利用することによって、一般教養を磨くということが可能になる。

※令和元年度 本校の主な指定校推薦一覧（専門学校）

- (注)今年度、自分が志望する学校の指定校推薦枠があるか、進路室で確認すること。
 ※詳しくは、各学校から送られてくる募集要項で条件などについては確認すること。
 ※県外の学校についても同様に、進路室で確認すること。

【県内 専門学校】

1	九州技術教育専門学校	どの学科でも可	8	シェフパティシエ学院	どの学科でも可
2	九州測量専門学校	測量科 測量情報科	9	公務員ゼミナール	
3	熊本外語専門学校		10	湖東カレッジ	こども学科 こども未来学科 大原スポーツ公務員専門学校 大原保育医療福祉専門学校
4	九州中央リハビリテーション学院	理学療法学科(昼間部) 作業療法学科(昼間部) 介護福祉学科	11	熊本 YMCA 学院	ビジネス総合学科 建築科 健康スポーツ科 児童福祉教育科 医療事務情報管理科
5	熊本総合医療リハビリテーション学院	作業療法学科 臨床工学学科 義肢装具学科 救急救命学科	12	日本総合教育専門学校	こども学科 幼児教育学科
6	熊本駅前看護リハビリテーション学院	理学療法学科 看護学科 言語聴覚療法学科	13	九州美容専門学校	美容科
7	モア・ヘアメイクカレッジ	どの学科でも可			

I. 5. 看護医療リハビリ福祉系の大学・専門学校

(1) 医療最前線の動き

医療看護・保健衛生系は公務員同様、不況期には人気が高く、好景気には不人気というという志望動向がある。受験生や保護者の資格志向や地元志向、安全志向が働くからである。現在は、少子高齢化や医療制度改革による医師や看護師の構造的な人材不足であり、景気に左右されない状況にある。

この2校の推薦を考えるならやはり普段の定期考査で高得点を取り、高い「評定平均」が必要である。また、医療や福祉系の仕事は適性が重要視され、入試では「志望の動機」が小論文や面接で問われる。「1日看護体験」や「医療系出張講義」等に積極的に参加し、志望の動機を言葉で表現し、医療者としての自分の将来像を述べられるようにすることが必要である。

医療の高度化を踏まえ、リハビリ専門学校で4年課程が主流となってきたのと同様に、将来的には、高看も4年課程に移行していく方向にはあるが、具体的なスケジュールが決まっているわけではなく、10年ほど先を見通したものとなるだろう。

(2) 看護医療系の就職状況

○看護師

「准看護師」の採用は病院の他、診療所・老人保健施設・老人福祉施設で多い。大卒の「看護師」が大学病院や大規模病院、高看卒の「看護師」が大規模～中規模病院、「准看護師」が個人病院では多い。資格としては、「正看護師」と「准看護師」の差はある一方、大学卒と高看卒でも資格は同じである。公立病院や保健所などの公務員の看護師を除いて給与は基本的に大きな差はない。今後は大卒の看護師が増加し、病院現場での管理職として主流になるだろう。

看護師資格に加え、その後進学して「保健師」や「助産師」「養護教諭」「特定看護師」の資格取得するために、看護学校から大学への編入も増えている。

○リハビリテーション<理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士>

「理学療法士」「作業療法士」とも大都市圏ではほぼ充足した。地方では選り好みしなければ就職は大丈夫と言われる。ただ、リハビリの大学や専門学校の養成学校が増加し、地方での求人はややきびしくなっているが、へき地でのニーズはまだ高い。進学後の就職は、整形外科や高齢者ケアを中心に病院がメインだが、福祉施設を含め、へき地での在宅医療としての訪問リハビリやスポーツリハビリ、今後は養成学校がより多様化していだろう。リハビリでも専門学校のほとんどが4年制の学校と移行した。国家資格は同じだが、今後はリハビリでも専門性を高めるために大卒が増えるだろう。

○臨床検査技師

大都市圏では選り好みしなければ就職は大丈夫。地方ではややきびしい。しかし地域によっては臨床検査技師を養成する大学や学校がない県があり、就職先を県外まで広げれば十分あるだろう。特に健康診断として予防検査のニーズは高い。さらに血液や尿などの検査技術としての臨床検査センターや食品衛生～保健衛生、製薬企業での研究部門など、検査技術の専門分野の幅は病院以外に広がりつつある。上位資格の「細胞検査士」などもある。

○診療放射線技師

大規模病院でのニーズは高く、都会・地方ともに就職は順調。他の医療職の養成学校と比べ、放射

線技師養成の大学や専門学校が少なく、大都市圏に集中している。九州地区では国立大以外に、専門学校しか選択肢がない。特に健康診断など健診車でのレントゲン撮影業務はニーズが高い。さらに従来のレントゲン技師にとどまらず、MRI磁気共鳴診断装置やX線CT、超音波検査、眼底カメラなど多くある。

○臨床工学士

比較的新しい国家資格で、他の医療専門職と比べ知名度がやや低いが、医用工学として血液人工透析はじめ人工呼吸器や人工心肺などの操作・管理、ICU集中治療室での医療機器の操作などを行う医療技術エンジニアとして重要な専門職である。診療放射線技師や臨床検査技師などと同様に、専門の大規模病院では必ず配置しなければならない。

○その他の医療専門職

「救急救命士」は公務員・消防としての就職が主流で救急医療現場では欠かせない。消防機関を中心に医療行為も認可された。

「歯科衛生士」「歯科技工士」「義肢装具士」の就職は需要が高まると思われる。特に技工士と装具士は製作企業が主な就職先である。

「柔道整復師」「視能訓練士」「鍼灸師」などは医療看護系・保健衛生系の中ではまだマイナーだが、一定の社会的ニーズがある。将来的に自立して仕事をする道もある。鍼灸専門の大学も複数ある。

●奨学金制度

大学の場合、「日本学生支援機構」による奨学金制度が活用でき、将来返還の必要があるが、就職は自由にできる。

看護やリハビリ系の学校には、条件付きで返還不要の「病院奨学金制度」がある。ただ、病院奨学金の場合は奨学金を受け取った年数分またはそれ以上、卒業後その病院で働く義務がある。（自宅外で月4～5万円支給）

【医療系の小論文・面接試験】

小論文作文・面接試験の、看護への志望動機では、①親が看護師、②小中学生時代入通院した際、看護師にお世話になった、③やさしい信頼される看護師になりたい、などは大切なことではあるが「きっかけ」にすぎない。それだけでは志望動機としては不足であり、激戦の入試は突破できない。「きっかけ」後の原体験として、④「1日看護体験」や「医療現場訪問や体験」を通して判断することなどが欠かせない。面接試験(小論文・作文試験)では、内容の深さが必要である。

現在の医療現場で課題となっている、ノーマライゼーション、インフォームド・コンセント、リビング・ウィル、セカンド・オピニオン、ターミナル・ホスピス、メンタル・ケア、バリア・フリー、リスク・マネジメントなど、教科の受験勉強とともに、時代や社会、医療の動きもしっかりと認識して受験に臨んでほしい。

(3) 医療・看護系の大学・学校（県内）

【県内の大学】

- 熊本大学医学部保健学科(熊本)：看護学専攻・検査技術科学専攻・放射線技術科学専攻
- 熊本保健科学大学保健科学部(熊本)：医学検査学科・看護学科・リハビリテーション学科
(理学療法専攻・生活機能療法専攻・言語聴覚学専攻)
- 九州看護福祉大学保健福祉学部(玉名)：看護学科・リハビリテーション学科（理学療法専攻）
鍼灸スポーツ学科・口腔保健学科・社会福祉学科（介護福祉課程を含む）

【県内の医療系専門学校】

- 国立病院機構熊本医療センター附属看護学校(熊本)
- 熊本市医師会看護専門学校(熊本)：第1看護学科・准看護科・第2看護学科（准看からの進学先）
- 熊本看護専門学校(熊本)：看護学科
- 熊本労災看護専門学校(八代)：看護学科
- 上天草看護専門学校(上天草)：看護学科（学生寮あり）
- 天草市立本渡看護専門学校(天草)：看護学科

- 九州中央リハビリテーション学院(熊本)：作業療法学科・理学療法学科・看護学科
- 熊本駅前看護リハビリテーション学院(熊本)：理学療法学科・作業療法学科・看護学科・
言語聴覚療法学科
- 熊本総合医療リハビリテーション学院(熊本)：理学療法学科・作業療法学科・臨床工学学科・
義肢装具学科・救急救命学科
- 西日本教育医療専門学校(熊本)：視能訓練士学科・医療事務管理士学科
- 熊本歯科技術専門学校(熊本)：歯科技工士科・歯科衛生士科
- 熊本歯科衛生士専門学校(熊本)：歯科衛生士学科

(4) 医療・看護系入試の最前線は…全体の状況

リハビリ系の学校が4年課程だと「高度専門士」の学歴になり、大学を通さずに直接的に大学院へ進学できる。また長い歴史がある准看護学校はまだ多くあり、入試は易化傾向にあるが、今後は統廃合やレギュラー3年課程の高看へ改組が一層進むだろう。

やや受験生が減少気味のリハビリにおいて熊本保健科学大学と九州看護福祉大学では理学療法が人気が高い。

○専門学校受験について

各看護学校の定員は80名や30名などもあるが、大半は40名前後である。特に国立医療センター附属看護学校は学費も他と比べ安いため人気が高い。国立が年間約40万円、私立が60万～80万円で、私立大学の150万～200万と比べ学費は安い。看護系志望では、近年大学志向が強くなってきたが、家庭の経済的理由も含め国家資格が同じということ、付属の病院への就職が有利ということで看護学校志向も根強い。さらに大学志向を反映し看護学校卒業後、保健師や助産師、養護教諭資格取得も含め、大学へ編入希望する学生が増えている。

リハビリテーションの学科は、県内では大学を含め5校ある。（県内：九州看護福祉大・熊本保健

科学大・熊本総合医療リハビリ・九州中央リハビリ・熊本駅前看護リハビリ)

臨床検査技師・診療放射線技師などの医療系学校は、看護やリハビリと比較し学校数が多くなく、新設校も少ないため、例年倍率は一定しており難易度も偏差値50前後の中位レベルが多い。(県外：臨床検査：久留米大付属、放射線：大分の日本文理大医療学校と鹿児島医療技術)

臨床工学士(医用工学・生体工学) (県内：熊本総合医療リハビリ)

義肢装具士、救急救命士 (県内：熊本総合医療リハビリに伝統と実績がある)

歯科衛生士や歯科技工士、視能訓練士、進学後の専門の勉強はそれぞれハードでしっかりとした専門や仕事に対する認識が不可欠である。(県内：視能訓練士：西日本教育医療)

(5) 専門別の状況について

准看護・言語聴覚療法・臨床工学・義肢装具、救命救急、歯科技工、歯科衛生、視機能訓練・鍼灸・柔道整復・臨床心理など多様な医療技術がある。

○准看護師：日本看護協会によると、准看護師養成所を看護師養成所に転換し、看護師養成への一本化を目指しています。都道府県知事資格として医療現場で医師や正看護師の指導のもと働くため、行える医療行為には制限もある。病院など医療機関で働きながら看護をめざす道となっている。

○言語聴覚士：1977年に制定された国家資格である。かつては看護師や理学療法士が担当していたが、医療技術の専門分化に対応するため、より専門のスタッフが必要になったからである。言葉や耳に障がいをもつ患者を対象に、機能回復とコミュニケーション能力や生活向上を図るリハビリである。特に難聴障害や言語障害、音声・発音障害、失語症などに対し、カウンセリングや訓練プランに基づき補聴器による指導を行う。

○臨床工学士：多くの医用工学機器導入に伴い、人工透析・心電図・人工心臓・人工呼吸など生命維持管理装置の操作や保守・点検を行う医療機器・コンピュータの専門職である。ニーズは高く今後の医療技術機器の発達により診療放射線同様将来性は高い。崇城大応用生命で取得可能だが、医療現場での臨床実習がないため、学部卒業後、臨床工学養成学校へ1年間進学する必要がある。

○義肢装具士：リハビリテーション医療の一環として、身体の一部を欠損して障がいをもつ患者へ義肢を装着し、失われた機能を回復させる専門職である。多発する交通事故後の患者や高齢者など、社会のニーズは高い。勤務は義肢装具製作所が中心で、病院の医師やリハビリ施設との交渉も多い。最近では海外のアジア・アフリカへ国際医療援助として、内戦や地雷などによる被災者への義肢支援活動も増えてきている。

○救命救急士：現場から病院までの救命率確保という重要な仕事である。勤務先として消防関係が中心で、職務上男性スタッフが多い。近年、交通事故や災害現場などの被害者救済のため緊急生命維持への医療行為が部分的に認められる方向にある。進学後は専門技術の勉強と共に消防関係の公務員受験対策が必要になる。今後は大規模病院や民間企業での患者運搬事業への就職も増えるだろう。

○歯科衛生士・歯科技工士のニーズは十分あり。英・数・国の基礎力に対応できるが、面接・作文の試験もあるため、志望動機をしっかりと考えておくこと。歯科衛生士も歯科技工士も手先の器用さが求められる。歯科衛生士は患者と直接接するため、コミュニケーション能力が求められる。

(6)【医療を支える福祉系ライセンスガイド】

介護報酬の引き上げによって、福祉を支えるスタッフの待遇改善を図り、人材確保を促そうとする国の施策が進んでいる。こうした国の動向に注目する必要がある。

○介護福祉士：高齢化社会の需要にこたえ、高度な知識と技術をもつ福祉の専門家

1988年に社会福祉士とともに制度化された国家資格で、日常生活をおくるのに不自由な人に対して、入浴、排泄、食事等の介護や利用者及び介護者に指導を行う。

[どんな仕事なのか] 主な仕事は、寝たきりのお年寄りや重度の身体障害者、認知症性老人などに、必要に応じて、入浴、排泄、食事サービスやその他の介助を行う。医療・看護が必要な場合は、医療職・看護職との連携を図る。さらに、本人や家族に対して行なう介護技法の技術指導やメンタルケアなども重要な仕事である。

[ライセンス取得のプロセス]介護福祉士になるには、指定の養成施設で学び卒業と同時に資格を取る方法が一般的で、他に国家試験を受験する方法がある。

○社会福祉士：多様化高度化する福祉のニーズに対応し、豊かな福祉社会をめざす専門家

1988年に制度化された国家資格で、日常生活をいとなむのに支障のある人たちの相談に応じ、助言・指導・その他の援助を行う。

[どんな仕事なのか]社会福祉士の主な仕事は、一人暮らしのお年寄りや体の不自由な人たちなど、社会生活上何らかの障がいのある人たちの社会的自立のために、相談やアドバイスを行うこと。生活保護に関する調査や、知的障害者、身体障害者等に対する職場適応訓練など、社会復帰援助や母子・老人・児童福祉などもすすめる。

[ライセンス取得のプロセス]福祉系大学・短大・専門学校で指定科目を履修し、受験資格を取得して社会福祉士試験を受験する。一般の大学・短大卒業後、実務経験、養成施設で学び、受験資格を取得するなどできる。

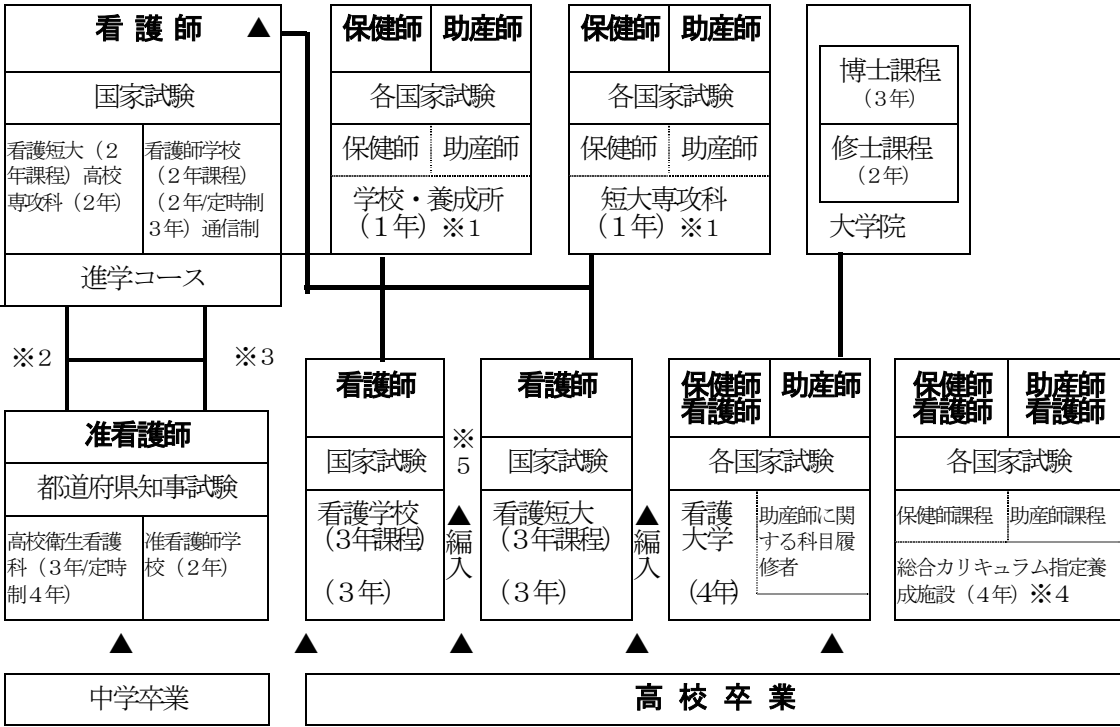
○精神保健福祉士：精神障害者の社会復帰にそなえて助言・指導を行う専門家

精神に障がいのある人の社会復帰を支援する専門職を確立しようと「精神保健福祉法」が、1997年に制定され、社会福祉の中でも専門性の高い資格で、福祉のニーズが多様化する今後、ますます重要になる。

[どんな仕事なのか]精神障害の治療を受けている人、または精神障害者社会復帰施設の利用者を対象に、退院後の生活や就労、各種給付制度など、社会復帰に関する様々な相談業務を行う。退院後の生活についての助言や指導、日常生活に必要な訓練を行う。

[ライセンス取得のプロセス]保健福祉系大学へ進学し、実務経験を経て、国家試験を受け取得する。他に福祉系短大を卒業後、実務経験、6ヶ月の短期養成施設を経て、国家試験を受験する。一般大学・短大からは、実務経験1年間の一般養成を経て、国家試験を受験する。

(7) 看護師ライセンス取得のプロセス



()内は修業年限 ※1:規定では6ヶ月以上 ※2:看護短大と高校専攻科は高卒者に限る ※3:中卒准看護師は実務3年以上が必要 ※4:平成10年度から開設規定では3年6ヶ月以上 ※5:平成11年度から専門学校の卒業生も大学編入が可能

●准看護師学校・養成所 (熊本県内)

●看護学校・養成所進学課程

(看護師2年課程:熊本県内)

※准看護師免許取得者が入学可能です。

名称	所在地	名称	所在地
宇城看護高等専修学校	宇城市 松橋町	熊本市医師会看護専門学校 (第2看護学科)	熊本市
菊池郡市医師会立看護高等専修学校	菊池市	八代看護学校 (看護師2年課程)	熊本市
熊本市医師会看護専門学校 (准看護科)	熊本市		
鹿本郡市医師会附属准看護高等専修学校	鹿本市		
人吉市医師会附属人吉准看護学院	八代市		
天草郡市医師会附属天草准看護高等専修学校	天草市本渡		
八代市医師会八代看護学校	八代市		

I. 6. 大学・短期大学の通信教育

(1) 社会に開かれた大学

働きながら、大学や短大の通信教育で正規の教育課程を学ぶ制度で、大学を卒業後大学院も通信で学ぶことが可能である。

(2) 通信教育の特色

自分のペースで学習できる。卒業はスクーリング受講が必要で、これは自分の都合に合わせたコースを選択できる。学費が安く、卒業をめざす正科生は、高卒などの大学入学資格が必要で入学試験はない。学習内容や単位数などは基本的に通学課程と同じである。

(3) 履修方法を選ぶ

目的や入学資格により、通信教育は次の4つの履修方法(学生の種類)がある。

(ア) 正科生(本科生)

大学・短期大学の卒業をめざし、正規の課程を学ぶ。すべての通信教育部に置かれている。入学資格は高卒、または同等の入学資格を持つこと。大学提携の専門学校に入学し、同時に通信教育部にも入学する「ダブルスクール生」を募集している大学もある。

(イ) 聴講生(科目等履修生)

大学や短大を卒業している人が教員免許状の取得を目的に、必要な教職課程の科目を選択して履修する。個々のケースにより履修方法は異なる。

(ウ) 科目別履修生(科目等履修生)

職業上の知識や教養を学ぶために、開設科目の中から一部の科目を自由に選択する。大学入学資格を条件とする大学と、18歳以上であればだれでも入学できる大学がある。

(エ) 特修生(科目等履修生)

大学入学資格がない人のためのコース。入学資格は「18歳以上」の大学が多い。(a)所定の単位を修得する、(b)大学が実施する認定試験に合格する、のいずれか、または両方の条件を満たせば、正科生2年次に入学できる。履修期間は大学により6ヵ月～2年間で、1年間で普通。その大学の通信教育部正科生となるためのコースであり、通学課程や他大学への入学はできない。また、正科生として入学後に通学課程に転籍することもできない。

(4) 入学・テキスト学習

(ア) 入学する

入学時期は、春(4月)と秋(10月)。4月募集のみは一部大学で、通常は年に2回募集する。入学試験はなく、願書・卒業証明書・学費などをそろえ申し込む。作文などを提出する大学もあるが、原則として書類選考で、入学資格を満たし、書類に不備がなければ入学が許可される。

入学の際に必要な学費は、選考料も含め約10万円～28万円程度。大学により差があり、スクーリング受講料や科目試験受験料、教材費が必要な場合もある。入学が許可され履修届を提出すると、登録した科目の教科書や補助教材、学習指導書、レポート課題集、レポート用紙などが届く。

(イ) テキストで学習する

教材が届いたら、学習を始める。テキストでの学習が、全体の4分の3、1科目が1冊のテキストで、1単位分はA5判で約70ページ以上。通学課程の講義量とほぼ同じ分量。

(ウ) レポートを書く

1単位分の学習終了後、決められた課題でレポートを作成。1つのレポート(1単位分)は2,000字程度。一般的な4単位の科目で、1~4回レポートを提出する。

(エ) 単位修得試験を受ける

科目のレポートを提出し合格の評価をもらい、単位修得試験(科目試験)を受ける。試験は、大学のキャンパスや全国の主要都市で年に数回実施される。合格すればその科目の単位を修得、卒業に必要な単位を積み重ねていく。

(5) スクーリングに出席する

スクーリングは、実技・実験や直接受講するのが効果的な科目を中心に行われる。卒業までに、1年次入学では、通常大学で30単位以上、短大で15単位以上をスクーリングで修得する。スクーリング最終日に筆記試験(レポートや作品の提出を求める大学もある)があり、決められた時間出席し、試験に合格すると単位修得となる。

(ア) 夏期スクーリング(昼間スクーリング)

一般的なスクーリングで、期間が長く開講科目数が多い。多くの大学で7月下旬から8月下旬の間の3~5週間、大学のキャンパスで行う。この期間の6~7日間を1期として3期に分け、1科目(4単位)を3~5日間で集中して行うのが一般的。

(イ) 夜間スクーリング

夜間に通学し約10週間で8単位前後が修得できる。

(ウ) 地方スクーリング

大学以外の地方都市でスクーリングを実施する大学は多い。期間は3日間から1週間程度。大学により、開催地は数カ所から40カ所以上まで。期間や開講科目の種類などは開催地により異なる。地方の学生には便利だが、開講科目に限られ、地方スクーリングだけではスクーリング単位すべてを修得できないことが多い。大半の大学・短大では、卒業までに、少なくとも1度は、大学のキャンパスでのスクーリング受講が必要。

(エ) 通年スクーリング

1年間を通して大学に通学し、通学課程の学生と一緒に授業を受ける、4年次に限るなど、受講には一定の資格・条件が必要。仕事を持つ人の受講は比較的少ない。

(オ) その他のスクーリング

週末に大学で行う「土・日曜スクーリング」、体育実技を海や山で行う「合宿スクーリング」、外国の大学と提携し数週間の「海外スクーリング」を実施するところもある。

(カ) スクーリングの魅力

スクーリングで知り合った仲間と励ましあうことが通信教育の学習を成功させるコツである。夏期スクーリングで、授業以外にサークル活動や学園祭などを行う大学もある。地方の学生は、数日間のスクーリングは負担が大きいですが、大学が宿泊施設の紹介や学生寮を提供したり、休暇申請のために、スクーリング出席の依頼状を職場宛に発行したりする大学もある。

(6) 大学・短期大学の通信教育部の学科別一覧（抜粋）

通信大学・短大の情報は、私立大学通信教育協会(<http://www.uce.or.jp/>)で確認すること。

学校名	学部・学科	学校名	学部・学科
法政大学	法学部（法律学科） 文学部（日本文学・史学・地理学科） 経済学部（経済・商業学科）	聖徳大学	児童学部（児童学科） 心理・福祉学部（心理・社会吹き牛学科） 文学部（文学科）
慶應義塾大学	文学部（哲学・史学・文学） 経済学部（経済（商を含む））	日本福祉大学	福祉経営学部（医療・福祉マネジメント学科）
中央大学	法学部	武蔵野美術大学	造形学部（油絵・工芸工業デザイン・芸術文化・デザイン情報学科）
日本女子大学	家政学部（児童・食物・生活芸術学科）	奈良大学	文学部（文化財歴史学科）
日本大学	法学部（法律・政治経済学科） 文理学部（文学専攻（国文学・英文学）・哲学専攻・史学専攻） 経済学部（経済学科） 商学部（商業学科）	帝京大学	理工学部（情報科学科）
玉川大学	教育学部（教育学科）	早稲田大学	人間科学部（人間環境科学・健康福祉科学・人間情報科学科）
佛教大学	佛教学部（仏教学科） 文学部（日本文学・中国・英文学科） 歴史学部（歴史・歴史文化学科） 教育学部（教育学科） 社会学部（現代社会・公共政策学科） 社会福祉学部（社会福祉学科）	九州保健福祉大学	社会福祉学部（臨床福祉学科）
近畿大学	法学部（法律学科）	大阪芸術大学 短期大学部	保育学科
明星大学	教育学部（教育学科）	近畿大学短期 大学部	商経科
創価大学	経済学部（経済学科） 法学部（法律学科） 教育学部（教育・児童教育学科） 文学部（人間学科）	近畿大学九州 短期大学	生活福祉情報科 保育科
京都造形芸術 大学	芸術学部（芸術教養学・芸術学・美術・デザイン科）	帝京短期大学	こども教育学科
大阪芸術大学	芸術学部（美術・デザイン・建築・写真・文芸・音楽・初等芸術教育学科）		

(7) 主な大学・短期大学通信教育部の入学時の学費一覧（抜粋）（平成29年度）

【大学】

大学名	入学の種類	入学諸費	教育費等	合計(円)	備考
法 政	1年	40,000	80,000	120,000	
	2・3年編入	60,000	80,000	140,000	
慶應義塾	普通・特別	30,000	100,000	130,000	スクーリング受講料は別途。
中 央	1年,2・3年	30,000	80,000	110,000	教科書代は科目により別途。
					スクーリング受講料は別途。
日本女子	1年	41,140	120,000	161,140	スクーリング履修料は別途。
	2・3年編入	51,140	120,000	171,140	
日 本	1年,2・3年	30,000	99,000	129,000	教材費、レポート添削料を含む。

玉川	1年	50,000	122,000	173,000	教材費、レポート添削料、科目試験受験量を含む。
	2・3年編入	60,000	122,000	183,000	
佛教	1年	30,500	147,500	178,000	教材費（テキスト代）は別途。 スクーリング履修料は別途。 免許・資格登録の場合別途必要。
	2・3年編入	55,500	147,500	203,000	
近畿	1年、2・3年編入	30,000	70,000	100,000	科目試験料、スクーリング受講料・メディア授業料は別途。一部費用別途。
明星	1年	40,000	114,000	154,000	スクーリング費は別途。
	2・3年編入	55,000	114,000	169,000	
創価	1年、2・3年	36,000	74,000	110,000	スクーリング費は別途。
大阪芸術	1年、2・3年	40,000	200,000	240,000	スクーリング費は別途。
聖徳	1年、2・3年	46,500	92,100	138,600	スクーリング費は別途。
日本福祉	1年、2・3年	30,000	31,500	61,500	スクーリング費は別途。
武蔵野美術	1年	40,000	285,000	325,000	教育費は142,500円×2期分納有 スクーリング受講費 8~16千円/1単位
	2・3年編入	50,000	285,000	335,000	

【短大】

大学名	入学の種類	入学諸費	教育費等	合計(円)	備考
大阪芸術	1年	40,000	80,000	120,000	保育学科は教育充実費、デザイン 美術学科は実習費が別途必要。
	2年編入	60,000	80,000	140,000	
近大豊岡	保育専攻	40,000	110,000	150,000	免許・資格取得の場合、別途。
	幼児専攻	40,000	150,000	190,000	
聖徳	1年	35,000	96,600	131,600	免許・資格取得の場合、課程履修費 別途。ピアノ受験料、スクーリング 受講料も別途。
	2年編入	70,000	90,400	160,400	
近大九州	1年 ※2年編入	38,000	116,000	154,000	免許・資格取得の場合、別途。科目 試験料は別途。スクーリング受講 料は別途。

I. 7. 奨学金制度について

① 奨学金制度を利用する前に

1. 学費と生活費が在学中にどれくらいかかるか試算しよう！

※必要なお金は、受験後ではなく、受験前に準備しておくことが大事です。

【入学から卒業までにかかる主な費用の金額例】

- ① 入学金＋1年目の授業料など＋2～4年目の授業料
(国立 250 万円、私立文系 400 万円、私立理系 550 万円、私立芸術系 610 万円、私立医・歯 2,000 万～4,000 万円)
- ② 入学までにかかる費用＝A：出願や受験などの費用＋B：生活準備費＋C：その他費用
(A：自宅 19 万円・下宿 24 万円、B：自宅 9 万円・下宿 52 万円、C：自宅 22 万円・下宿 51 万円)
- ③ 生活に関する費用(食費、住居費、娯楽費など)＝自宅 73 万円×在籍年数、下宿 141 万円×在籍年数

2. 学費などのサポートはどう選べばいいか？(メリットは○、注意すべき点は△、デメリットは×)

① 学生本人がもらう or 借りる「奨学金」

※もらうことを「給付」、借りることを「貸与」と言います。

○借りたときは無利息か、教育ローンより利率が低い。

△入学してからの支給になるので要注意。

○返還は卒業後(教育ローンは翌月から保護者が返済)

② 保護者が借りる「教育ローン」

○入学前からまとまった金額を借りられる。

×借りるので借りたお金より高い金額を返還する。

×返済は借りた翌月から(奨学金は卒業後に本人が返還)

③ 学校が請求しない or 減額する「授業料減免制度」

△すべての国公立大学にある。

△私立大学、短大にもあるが内容に差がある。

○学校ごとに検索できる web サイトがある。

3. 奨学金を申し込むには(日本学生支援機構を例に)

① もらう「給付型」

・学力基準：高い学習成績を収めているなど

・家計基準：住民税非課税世帯または生活保護受給世帯の人

② 借りる「貸与型」

・利息のつかない「第一種奨学金」学力基準：評定平均値 3.5 以上

家計基準：年収 4 人世帯 747 万円以下

・利息のつく「第二種奨学金」学力基準：学習意欲があることなど

家計基準：年収 4 人世帯 1,100 万円以下

① 日本学生支援機構（旧 日本育英会奨学金制度）

◎ 第1種奨学金…無利子。経済的な理由により著しく修学困難な者に貸与。

高校在学中の成績が3.5以上必要。

進学先及び『自宅・自宅外別』の月額			
大学	自宅生	国公立 45,000 円	私立 54,000 円
	自宅外生	国公立 51,000 円	私立 64,000 円
短大 専修学校	自宅生	国公立 45,000 円	私立 53,000 円
	自宅外生	国公立 51,000 円	私立 60,000 円

実際の進学先・通学形態によって進学後に月額が決定します。

他に「3万円」を選択することもできます。進学先・通学形態にかかわらず月額は3万円です。

◎ 第2種奨学金…利子付き奨学金。

学力基準は、「高校などでの成績が平均水準以上の者など」

30,000 円・50,000 円・80,000 円・100,000 円・120,000 円の貸与金額から選択

◎ 入学時特別増額貸与奨学金…利子付き奨学金。第1種または第2種を申込みし希望する場合貸与。

※ 3学年の1学期（5月下旬～6月中旬）に予約奨学生の募集があります。5月に説明会が実施されるので必ず参加して下さい。（進学後の申し込みも可能です。）

※ 対象外となる学校もありますので、注意して下さい。

② 国の教育ローン

教育一般貸付、郵貯貸付、年金教育貸付の3種類。受験費用、入学費用、在学費用のすべてが対象で、融資限度額は子ども一人につき350万円（返済は15年以内、利率は1.71%（R1.5.7現在））となっています。詳しくは国民生活金融公庫ホームページ（<http://www.kokukin.go.jp>）をご覧ください。

③ 金融機関の教育ローン

国の教育ローンと同様に、都市銀行・地方銀行・労金・信金などの金融機関でも「教育ローン」を取り扱っている場合があります。融資金額・期間・利率などは各機関によって異なりますので、それぞれの金融機関にご相談下さい。

その他、地方自治体が独自に奨学金制度を設けているところがあります。規定は各自治体によって異なりますので、地元の自治体に奨学金制度があるかどうかを確かめた上で問い合わせして下さい。

④ 新聞奨学生制度

新聞社と大学・短期大学・専門学校が提携して、朝刊・夕刊の配達業務や集金業務をしながら通学する制度です。2年間勤務すると、入学金・授業料が全額貸与され返済義務が免除されるなど特典があります。また、8～11万円程度の給与が支給されるほか、無料の寮・アパートが支給されます。

（注意点）①学費が奨学金の限度内の場合、返済は不要です。

②学費が奨学金の限度額を超えた場合は、自己負担となります。ただし、一部特別制度により全額貸与を受けられる学校もあります。

③選考料・教材費・学園債券・寄付金などは奨学金の対象になりません。

I. 8. 調査書の内容（評定平均値と学習成績概評）

（0）高大接続改革における「調査書」の改善について

受験出願の際に学校で準備する「調査書」の内容についてより詳しい記述が求められるようになります。具体的には、以下の通りです。

【指導上参考になる諸事項】

○生徒の特長や個性、多様な学習や活動の履歴についてより適切に評価することができるよう、現行の調査書の「指導上参考になる諸事項」の欄を拡充し、以下の①～⑥の項目ごとに記載される欄を分割して、より多様で具体的な内容が記載されるようになる。

- ① 各教科・科目及び総合的な学習の時間の学習における特徴等
- ② 行動の特徴、特技等
- ③ 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等（具体的取組内容、期間等）
- ④ 取得資格・検定等（資格・検定の内容・取得スコア・取得時期等）
- ⑤ 表彰・顕彰等の記録（各種大会やコンクール等の内容や時期等、大学入試資格試験における成績や化学オリンピック等への参加歴や成績など社会的に評価される活動の実績、生徒自ら関わってきた諸活動、生徒の成長の状況に関わる所見など）
- ⑥ その他

以上のことから、生徒自ら記録を取り、その活動歴や実績を記録にとどめておく必要がある。さらに、それを証明する表彰状や合格証など書類で保管しておくことが必要になってくる。

この記録のためには、「ポートフォリオ」を準備して、記録しておくべき書類や記録を一つにまとめておいたり、メモに残しておいていつでも取り出せるようにしておいたりする必要がある。このためにも「メモ帳」をつけたり、「スケジュール帳」で管理したりする習慣をつけておくことを強く勧める。

（1）調査書に記載される内容

「調査書」の内容は「学習の記録」「出欠の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」など、特に「学習の記録」「出欠の記録」は、進学の推薦入試や就職採用試験で重視されている。また、「特別活動の記録」では、部活動やボランティア活動なども評価される。

調査書で特に重視されるのが「評定平均値」と「学習成績概評」で、推薦入試では調査書が合否に大きな影響を与える。推薦入試では、「評定平均値の平均が3.5以上」又は、「学習成績概評がB以上」などの条件(成績基準)が出願資格となる場合が多い。

（2）「評定平均値」と「学習成績概評」

「評定平均値」とは、各科目の3ヶ年間の評定の合計を科目数で割ったものを、「学習成績概評」とはこの評定平均値を次に示す基準によってA、B、C、D、Eとしたものをさす。なお、学習成績概評は以下のように算出され、入学試験の合否に大きく影響する。

評定平均値	5.0～4.3	4.2～3.5	3.4～2.7	2.6～1.9	1.8～
学習成績概評	A	B	C	D	E

(3) 「評定平均値」の算定方法

①まず、「各教科の評定平均値」を求める。

各教科毎に各教科の評定の合計値を各教科の評定数で割った数値（小数点以下第2位を四捨五入）を出す。

【計算例】理科を例にとると、高1「科学と人間生活」3、高2「生物基礎」3、高3「生物」5の場合、

$$\frac{\text{評定の合計値}}{\text{評定数}} = \frac{3+3+5}{3} = \frac{11}{3} = 3.66 \quad \text{ゆえに、理科の評定平均値は「3.7」である。}$$

②次に、「全体の評定平均値」は、すべての教科・科目の評定の合計数をすべての評定数で割った数値（小数点第2位を四捨五入）を求める。

【計算例】

$$\frac{\text{すべての教科・科目の評定の合計数}}{\text{すべての評定数}} = \frac{\text{国語}(4+3)+\text{地歴}(5+4+4)+\dots+\text{保体}(4+3+4+5)+\text{家庭}(5)}{\text{国語}(2)+\text{地歴}(3)+\dots+\text{保体}(4)+\text{家庭}(1)} = \frac{128}{33} = 3.87$$

ゆえに、全体の評定平均値は「3.9」である。

※注意：保健体育のように、複数学年にわたって履修する科目については、各学年毎の評定数をそれぞれ1科目として取り扱い、計算する。

I. 9. 進学のための「志望理由書」「小論文」「面接」対策

(1) 「志望理由書」対策

① 「志望理由書」とは

推薦入試やAO入試などを受験する際に、ほとんどの学校から求められる書類である。学校によっては、自己推薦書・エントリーシートとも呼ぶ。

一次選考（書類審査）の判断基準になるだけではなく、その後の面接試験でも質問の材料として活用されるため、その内容が合否に大きく影響するので、しっかりと準備しておく必要がある。

まず、志望する学校の入試方法の提出書類を調べておこう。学校の願書や募集要項に、記入字数の指定や用紙が書いてあったり、用紙が含まれていたりする場合はほとんどである。まずは、学校のパンフレット（学校案内や募集要項）を取り寄せて研究しよう。

② 「志望理由書」を書く前に

ほとんどの人にとって、志望理由書を書くのは初めての経験だろう。まず、「自己分析」をしてみよう。自分は「どんな学問・研究」がしたいのか、その学校で「どんな就職」をしたり「資格」を取得したいのか、学校の特徴をじっくり研究してみよう。その上で、「この先生に教えてほしいから」「設備が充実していて、学びたい分野の研究がしっかりできそうだから」など、その学校を選んだ理由を考えよう。

次に、「なぜその分野を志望したのか」を考えよう。「面白そうだから」「かっこいいから」などの印象ではなく、「高校時代の部活動で研究したから」「インターンシップで出会った方から学問の必要性を学んだから」など高校生活やこれまでの経験を踏まえて説明しよう。

さらに、「どんな学校生活を送りたいか」「どんな社会人になりたいか」を考えよう。入学したら「どんなことを学びたいか」「どんな活動（部活動やボランティアなど）をしたいか」など、具体的な学校生活を考えたり、「将来どんな仕事をしているのか」など将来のビジョンを語ったりしよう。

③ 「志望理由書」のチェックポイント

志望する学校が知りたいのは、「これまで（小・中・高）の学校生活で何をやってきたか（過去・現在）」「この学校で何をしたいか（未来）」「社会に出て何をしたいか（未来）」の3つである。

具体的には、これまでのことに関しては、「どんなことを学んできたか」「どんな部活動をしてきたか」「どんな経験をしてきたか」「どんな人や出来事に影響を強く受けたか」などである。

次に、これからのことに関しては、「カリキュラムの内容」「教授陣容とその研究内容」「取得できる資格や技能」「主な部活動やサークル活動」「他の学校にない特徴」「入学後の学生生活の抱負や過ごし方」などである。

さらに、卒業後に関しては、「就きたいと考えている職業」「活動してみたい分野や業界」「社会との関わり方」「職業や生活・活動の計画と学校での学習内容との関連」などである。

③ 「志望理由書」の書き方

この「志望理由書」から学校はどんなことを見るかというと、目的意識・意欲・人柄・文章力・可能性・将来性などを見ている。どのくらい書けばいいかというと、字数は指定があり、400～800字程度で、その9割以上を埋める必要がある。段落構成は、始めに「なぜ志望したのか（現在）」、次に「志望するようになったきっかけ（過去）」、そして「きっかけから展開する将来の展望やビジョン（未来）」、最後にまとめとして決意や努力目標などを書く。

(2) 「小論文」対策

医療看護系入試などの推薦入試の試験科目として、基本的な適性・人物評価が問われ、「学科試験」と「小論文」・「面接」で総合的に選抜される。過去問題等の論作文の視点や評価、出題パターンを読んで、しっかり書く対策をする。

● 〈どのような論作文が求められているか。〉

自分の書くテーマや訴えたいことをはっきりと文章にすることが必要である。作文でも個人的な感想を述べるのではなく、意見を表明する気持ちで書くことが大切である。入試で高い評価を受ける小論文・作文を書くためのポイントは次の4点である。

(ア)主題のある文章を書く。〈自分の意見や主張〉

(イ)その主題を訴えるために、しっかりと文章の構成を考えて書く。

(ウ)簡潔で明確な文章が良い。一文をなるべく短くするとわかりやすい。

(エ)正確な表記を心がける。文章のルールを守る。

● 〈論作文の採点基準は…〉

論作文は書き手の価値観や人柄を表す。高評価を得るために注意すべき事項は次の通りである。

(ア)「口語的表現での感情的な叙述は避ける。」あくまでも冷静な説得力がある文章を。

(イ)「書きなぐったような文字では書かない。」少々下手でもていねいに書くこと。

(ウ)「書き出しの一文を工夫する。」最初の一行がインパクトがあれば、採点者に好印象。歯切れが良く個性的だと高評価である。

(エ)「中身で勝負。」誤字脱字は無い方が良いが、意見や論点の中身が濃いと高得点が期待できる。

● 〈文体を統一する。〉

小論文なら「～です。」「～ます。」よりも「～である。」が良い。口語体や会話体の文章をそのまま書かない。短くてもあくまでも論文だからだ。「です。」と「である。」は絶対混合して使用しない。強調構文の方が採点者へのインパクトもある。

● 〈使える文体・強調構文例〉

「～である。」「～であろう。」「～ねばならない。」

「確かに～かもしれない。」「だが～でなかろうか。」

「～と言える。」「～であろうか。」「～であるはずだ。」

「以上のことから～と考える。」「～をめざしたい。」

● 〈どのような出題パターンが多いか。〉

出題パターンは様々で、60分800字が基本形であるが、特色と傾向を事前に調べるのが大切。大きくは次の4パターンである。

①【テーマ型】提示されたテーマと自分との接点、原体験、新聞記事やニュース、本やテレビからの知識、学校や先生から習ったこと、家族や知人の話など、キーワードを箇条書きにリストアップして書く。構成を組み立てる。[医療看護系学校に多い]

◎[事例]:「志望動機」「将来の夢」「タバコ」「少子高齢化」「高校時代」「家族」「脳死」「環境問題」「健康」「携帯電話」「ボランティア」など。

②【課題文型】課題の文章や新聞記事に書いてある趣旨や主張を読み取り、それに対して自分の意見を書く。課題文の要約も多い。要約の場合は最初のマスから詰めて書いてよい。[大学・専門学校共に一番多い]

◎[事例]：「人間関係」「患者の心理」「日本人のモラル」「生命の量と質」「医療事故」「食と健康」「ガン告知」「生命の倫理」「ストレス」「生活と環境」「国際比較」「DNA診断」「遺伝子組み換え」など。

- ③【資料データ型】データやグラフ・資料が提示され、その分析を要約して自分の考えを書く。表やグラフの大きな変化や数字に注意して、その資料の特色や主張を読み取る。[私立大推薦・一般入試に多い]

◎[事例]：「厚生白書」「仕事と余暇」「人口問題」「食料の自給率」「被災者数」「働く女性の意識」「介護保険制度」「生活習慣病」「外国人労働者数」

- ④【英文読解型】受験英語と違う点は文法や書き換えなどはなく、英文の中身がポイント。要旨を読み取ることが大切。少々の語彙不足は問題ない。[国公立大推薦・2次試験に多い]

◎[事例]：「中絶賛否」「遺伝子操作」「プライバシー」「ナーシングホーム」「医療チームワーク」「地球温暖化」「家族での男女役割」「人間関係」

※対策は医療や福祉、環境や人権などのテーマについて、『現代用語の基礎知識』や『イミダス』、新聞記事などを読む。志望校の過去問題を研究し実際に書き、信頼できる先生に添削してもらうことが大切である。テーマ毎に4～5回は必要だろう。

(3)「面接試験」の対策

1次試験(学科試験)の合格者のみに、2次試験で面接・小論文(適性検査)を課するというパターンが多い。

面接試験では「志望動機・将来の希望・社会的関心・表現力」など、学科試験ではわからない人物評価をする。ポイントは面接での様々な質問・応答を通して、進学への積極性と意欲を伝えることである。

●主な面接質問の事項

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ① 志望動機について | ② この大学、学校を選んだ理由について |
| ③ 専門に関する質問 | ④ 自己PRについて |
| ⑤ 社会的関心・時事問題について | ⑥ 出身高校の特色、高校時代の思い出について |
| ⑥ 得意科目・苦手科目/長所と短所について | |

「グループ討議/ディスカッション」では、自分の賛成・反対の立場を明確にして、相手の意見をきちんと聞き、自分の意見を冷静に述べるのが大切。好き嫌いが主張の基準ではなく、論理的に話し、目立ちすぎたり感情的になったりせず丁寧語で話す。グループ全体で活気ある討議ができればベスト。司会担当者もグループ全員が参加し意見が出るようなが進行できれば評価が高い。

※最後に・・・面接試験は自分を面接官へアピールできるチャンスである。

・医療看護系学校に対する自分の思いを面接官に心から伝えるには、医療に対する深い知識と熱意が必要である。このために普段から関係の書籍を読み、看護体験をする中から、深い問題意識と医療に対する理解を深めておく必要がある。

・話す内容に医療看護系専門知識・専門用語が多ければ高い評価になる。

・「他者への愛情と奉仕」「やる気と健康」「笑顔と積極性」をアピールする。

(4) 面接質問例 ～進学～

※ここに示した質問は代表的なものである。具体的には、自分の受験する学校の『受験報告書』で調べること。

(学校について)

- ・ どうやって会場まで来たか。
- ・ オープンキャンパスに参加したかどうか。その感想。
- ・ 本校をどのようにして知ったか。いつから希望したか。

(あなた自身)

- ・ 志望動機(内容について詳細に) / どうしてこの大学か。
- ・ 将来の夢は何か。
- ・ 自己PR ・ 自分の長所と短所 ・ 得意科目と不得意科目 ・ 友人は多い方か。

(高校生活)

- ・ 部活動について(努力したこと / どう役に立ったか)
- ・ 高校生活の中で一番思い出に残っていることは何か。
- ・ 高校時代に失敗したこと。失敗をどのように改善したか。
- ・ 高校時代の好きな教科と嫌いな教科は。嫌いな教科はどうやって勉強したか。
- ・ 高校3年間で熱中したことは何か。
- ・ 休日の過ごし方について。

(ボランティア活動)

- ・ ボランティア活動について(何をしたか / 継続して行ったか / どのようにして見つけたか / ボランティアを通して学んだことは)
- ・ ボランティアで得たものは。

(入学後の生活)

- ・ 学業以外にやってみたいことはあるか。
- ・ 合格後、入学するまでの過ごし方、入学後の学校生活をどのように過ごすか。
- ・ 合格したら、どのような学校生活を送りたいか。勉強以外ではどうか。
- ・ 卒業後の進路をどう考えているか。

(最近のニュース)

- ・ 最近の出来事で関心のあること
- ・ 最近のニュースで気になるものは何か。

(5) 違反質問例

- ・ 家の職業は。 / 家の宗教は。
- ・ お父さん(お母さん)は何をしているか。
- ・ お父さんはおられないようですが、死亡ですか。病死か。病名は。
- ・ 本籍はどこか。
- ・ 尊敬する人物は誰か。
- ・ 兄弟はいるか。何をしているか。
- ・ 両親の面倒はあなたが見ることになるか。
- ・ 家の資産、収入はどれくらいか。田畑はどれくらいか。
- ・ 新聞は何新聞をとっているか。
- ・ あなたの家は〇〇から先の方ですか。
- ・ あなたの家は〇〇から時間にしてどれくらいかかるか。
- ・ 自宅付近の地図を書いて下さい。

上記のような質問があった場合、「そのような差別選考につながる心配のある質問については、学校で答えないように指導されましたので、お答えできません。」と応答する。